

てまり通信 第101号

2025年3月発行

3月になり、日々、春の気配を感じるようになりました。桜の木も花を咲かせる準備中でしょうか。（文 甲佐志津子）

最新点訳案内

『ラジオ深夜便』1月号・2月号…NHK ラジオ番組「ラジオ深夜便」の月刊誌から「アンカーエッセー」を点訳しました。

『らくらくクッキング』…1月号では、抗酸化作用のある食材を使ったアンチエイジングのメニューや山形県庄内地方の郷土料理についての記事などを取り上げました。2月号では、冬野菜の定番＜白菜＞を使いこなすレシピをいくつか紹介しています。両号とも、他に季節の野菜や旬の素材を使った体が温まる料理を多数取り上げています。

『ねこのきもち』…1月号では、癒しとなる猫のニオイについて獣医師が解説した「愛猫は今日もやっぱりいいニオイ」や、猫用の布団、飼い主さんの布団など猫にとって魅力的な布団にまつわる「おふとん猫」などを点訳しました。2月号「猫が好む3つの質感のこと」では、＜ふわふわ・つるつる・ざらざら＞の3つの素材の質感について、好きな理由や活用するためのアドバイスを紹介しています。また、猫の食事まわりの悩みを「猫の難食」と名づけ、その対策について解説した記事なども取り上げました。

『いぬのきもち』…1月号では、「愛犬とのパートナーシップの深め方」をテーマとした記事や寒い国にルーツを持つ「北国の犬と北国で暮らす」飼い主さんたちを紹介している記事を載せています。2月号では、「冬の極上癒しケア」として愛犬の疲れやストレスをとり、癒すための方法についての記事や海外の犬たちの暮らしぶりを海外の飼い主さんたちに直撃取材した記事などを点訳しました。

『手打ち』…新聞記事から12月「筆洗」、1月「天声人語」を点訳しました。どちらかを同封しています。

府中市民交響楽団第91回定期演奏会のご案内

来る5月25日(日)午後2時より府中の森芸術劇場どりーむホールにて第91回定期演奏会が開催されます。

演奏曲目は、チャイコフスキー作曲 交響曲第4番、バレエ組曲「くるみ割り人形」…ほかです。

演奏会チラシは後日 別途お送りいたします。

てまり日和

先月、姪の結婚式に出席するため、宮崎市へ行ってきました。東京から2時間弱、到着したのは「宮崎ブーゲンビリア空港」。素敵な名前です。

その名のとおり、空港内は鮮やかな南国の花々で彩られています。折しもプロ野球チームがキャンプ中とあって、各球団のグッズ販売などイベントも開催中。明るくにぎやかな雰囲気でした。さらに目を引いたのは、吹き抜けの壁の中央に設置された壮大なステンドグラスです。原画は有名な影絵作家 藤城清治氏によるものだそうで、「古事記」や「日本書紀」に登場する八百万の神が色鮮やかに描かれていました。その真下にはからくり時計があります。定時に登場したのは、笛や太鼓の音色に合わせて神楽を舞う人形たち。天岩戸をモチーフにしているそうで、ここにも＜神話のふるさと＞と言われる宮崎らしさを感じました。

空港の話ばかりになってしまいました。肝心の結婚式は？ こちらは、特定の宗教にとらわれない「人前式」というスタイルの挙式でした。参列者の前で結婚の意思を誓う新郎新婦を盛大な拍手とともに皆で承認するというものなのです。結婚式も時代とともに変わっていくものなのですね。シンプルで温かく、全員が笑顔いっぱい！幸せな気持ちに満ち溢れた素敵な式でした。

点訳ボランティアてまり 連絡先

てまりメールアドレス temari6ten@yahoo.co.jp

代表 茂野玲子

電話 042-367-5272